

2019 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会参加報告

共通機器部門 坂下 英樹

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区の国立大学法人等の技術職員を対象とした研修。組織をけん引する人材のレベルアップをはかると同時に、クリーンなリーダー像を目指し、ハラスメントの予備知識も身につけることを到達目的とする。

2. 期間・場所

期間：令和1年8月29日～8月30日

場所：広島大学学士会館レセプションホール

3. 参加者等

中四国の大学及び高専の技術職員 44 名

4. 研修内容

1 日目：株式会社インソースの守田講師によるマネジメント研修（チーム力とリーダーシップがテーマ、5-6 人のグループワーク）

1. アイスブレイク（自己紹介、ミニゲームを通してチームの力を実感する）
2. 自分に求められる役割（組織・上司から見た場合／後輩から見た場合。5年後の自分に求められていることを考える。）
3. 後輩を指導・支援する（後輩を指導する上で、悩んでいることや難しいと思うことを共有。(1) 後輩指導を通してチームの中核人材となる。(2) 昔も今も、後輩指導の基本は「率先垂範」。(3) 業務指示の4要素。(4) 報告のさせ方・相談の受け方。(5) 進捗確認。(6) フィードバック～「ほめる」と「しかる」。

質疑応答では、業務上で困っていることなどについて講師よりコメントをいただいた。

夜には情報交換会が行われた。

2 日目：福岡ジェンダー研究所横山美栄子先生による講義「職場のハラスメント対策-リスク管理の視点から-」を受講。各校代表者発表聴講（呉高専、広島商船、広島大学。各校技術職員の業務の現状など。）

5. まとめと感想

中四国の技術職員の方々と研修に参加しグループワークを行うことで、同じような悩みや各校独自の問題などを実際に聞くことができ、今後業務をすすめる上でも参考になったと思う。他校の技術職員と面識もできたので、今後も情報交換などができると良いと思う。ハラスメントについては最新の情報を知っておくことがリスク管理の視点から重要であると感じた。今回学んだことが日々の業務でも活かせるように意識していきたい。